

どのように使っているの？ あいちのインターネット利用動向

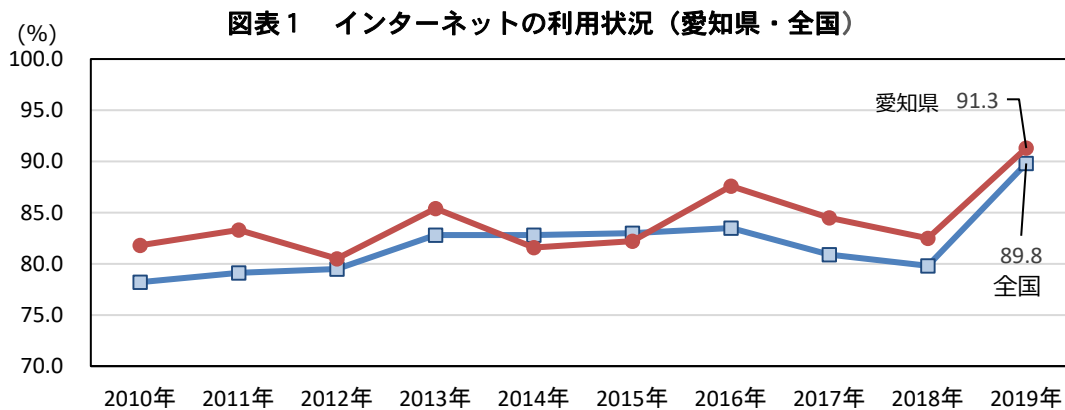
新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、企業ではテレワーク、学校ではオンライン授業の導入などインターネットの利用が増えています。

そこで、今回は、総務省で実施された「通信利用動向調査」の結果から、愛知県の世帯におけるインターネットの利用状況、家庭内インターネット環境などについてみてみたいと思います。

1 インターネットの利用者の割合（個人）

図表1は、2010年から2019年にかけて、過去1年間にインターネットを利用したことがある人の割合をみたものです。

愛知県、全国ともに、2018年まで80%前後で推移しておりましたが、2019年には愛知県では91.3%と9割を超え、全国も9割に迫る89.8%となっています。



資料 通信利用動向調査：総務省
 (注) ・過去1年間にインターネット利用の有無。
 ・対象：無回答の者を除く

図表2は、2019年におけるインターネット利用者の割合を都道府県別にみたものです。

最も割合が高いのは、東京都の95.7%で、次いで、大阪府、神奈川県、京都府、茨城県の順となっています。一方、最も利用者の割合が低いのは青森県の80.0%で、次いで山形県、福島県、秋田県、新潟県の順となっています。愛知県の91.3%は、全国でみると第7位となっています。

図表2 都道府県別インターネット利用状況

上位5都道府県			下位5都道府県		
順位	都道府県名	割合(%)	順位	都道府県名	割合(%)
1	東京都	95.7	47	青森県	80.0
2	大阪府	93.3	46	山形県	81.0
3	神奈川県	92.7	45	福島県	81.8
4	京都府	91.7	44	秋田県	82.8
5	茨城県	91.6	43	新潟県	84.0

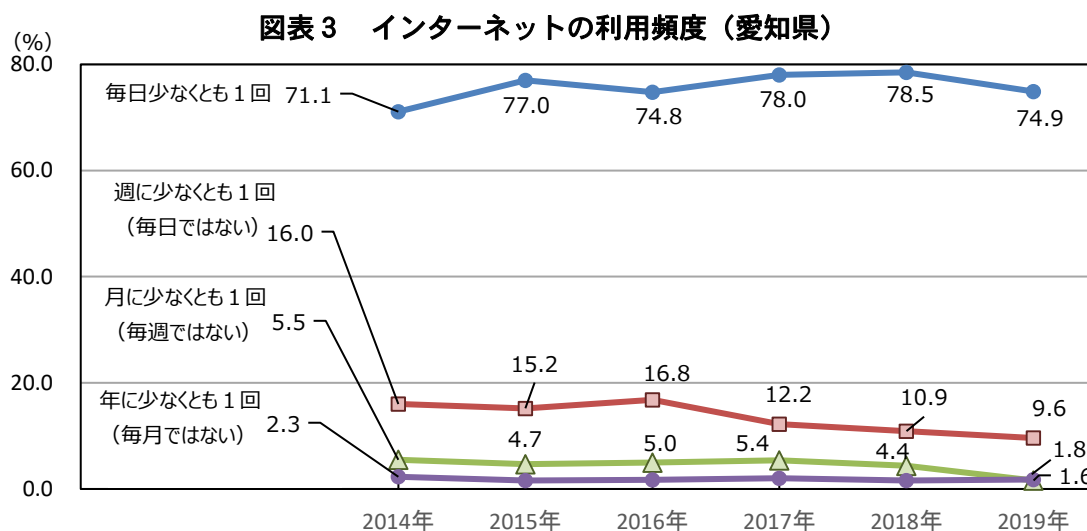
資料 通信利用動向調査：総務省
 (注) ・過去1年間にインターネット利用の有無。
 ・対象：無回答の者を除く

2 インターネットの利用頻度（個人）

図表3は、愛知県のインターネット利用者の利用頻度をみたものです。

2019年をみると、「毎日少なくとも1回」が74.9%と最も多く、次いで「週に少なくとも1回」（9.6%）、「年に少なくとも1回」（1.8%）、「月に少なくとも1回」（1.6%）の順となっています。

2014年から2019年までの推移をみると「毎日少なくとも1回」は70%から80%の間で推移する一方で、「週に少なくとも1回」、「月に少なくとも1回」は減少しており、毎日利用する人とそれ以外の人との間で2極化の傾向がみられます。



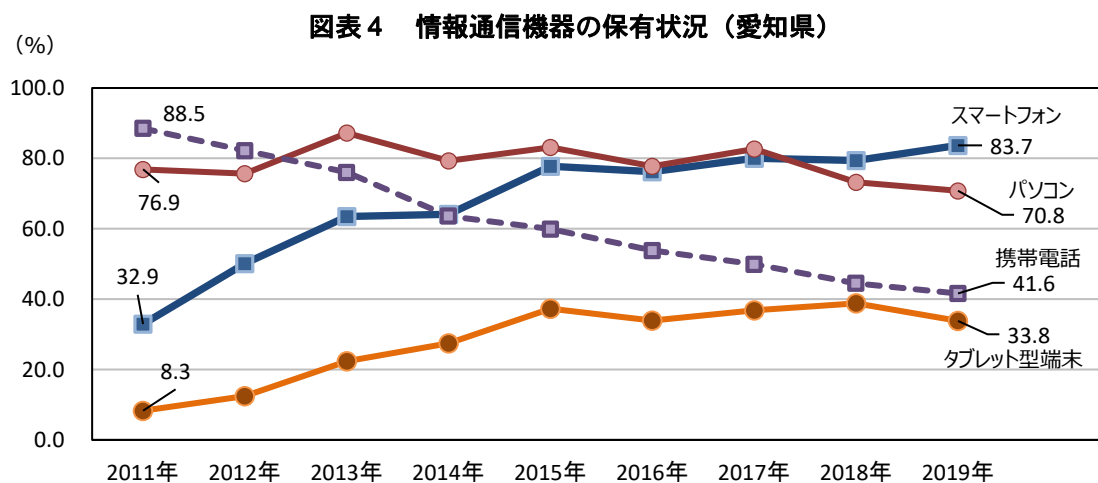
資料 通信利用動向調査：総務省
 (注) ・対象：過去1年間にインターネットを利用した者

3 情報通信機器の保有状況（世帯）

図表4は、愛知県の世帯の情報通信機器の保有状況をみたものです。

2011年から2019年にかけてみると、「スマートフォン」を保有する割合は2011年の32.9%から50.8ポイント上昇して2019年は83.7%となっています。また、「タブレット端末」は8.3%から25.5ポイント上昇して33.8%となっています。

一方、「パソコン」を保有する割合は2011年の76.9%から6.1ポイント低下して2019年は70.8%となり、「携帯電話」は88.5%から46.9ポイント低下して41.6%となっています。



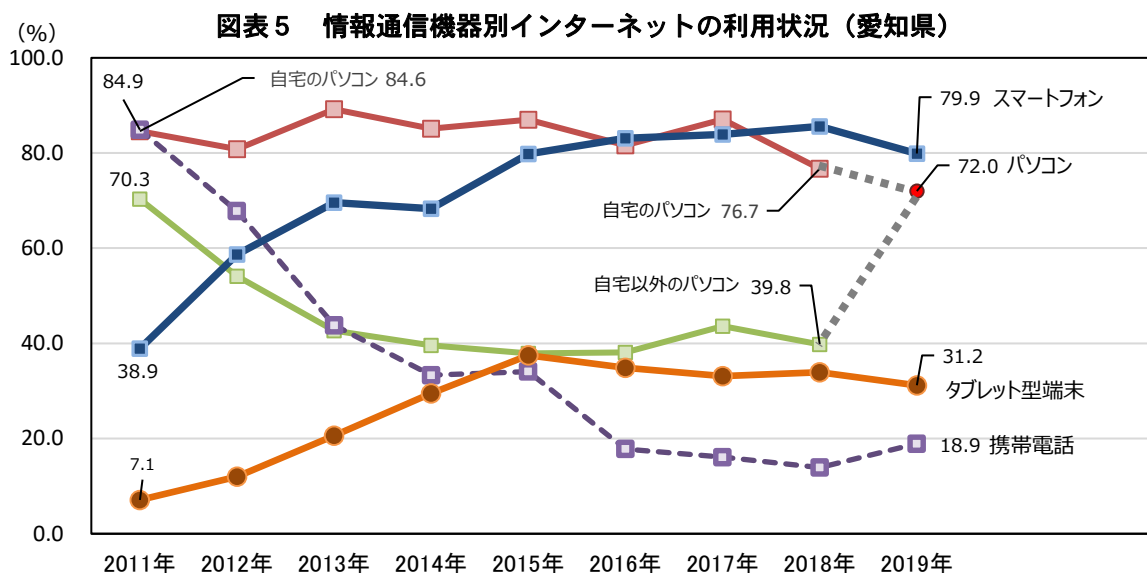
資料 通信利用動向調査：総務省、
 (注) ・対象：全世帯 無回答を含む。
 ・携帯電話：2011年～2012年はPHS、PDA等を含む。
 2013年～2019年はPHSを含む。

4 情報通信機器別インターネット利用状況（世帯）

図表5は、愛知県の世帯のインターネット利用状況を情報通信機器別にみたものです。

2019年をみると、「スマートフォン」でインターネットを利用する割合が最も高く、次いで「パソコン」、「タブレット型端末」、「携帯電話」の順となっています。

2011年から2019年にかけてみると、「スマートフォン」の割合は38.9%から41.0ポイント上昇して79.9%となっています。一方、「携帯電話」の割合は2010年の84.9%から66.0ポイント低下して18.9%となっています。



資料 通信利用動向調査：総務省

(注) ・パソコン:2011年から2018年まで「自宅のパソコン」「自宅以外のパソコン」の2区分で計上。
 ・携帯電話:2011年～2012年はPHS、PDA等を含む。2013年～2019年はPHSを含む。
 ・対象:過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用したことのある世帯

図表6は、2019年の世帯における情報通信機器別インターネット利用状況を都道府県別にみたものです。

「パソコン」でインターネットを利用した者の割合が最も高いのは京都府で、同様に「スマートフォン」は奈良県、「携帯電話」は群馬県、「タブレット端末」は東京都となっています。東京都、京都府は、携帯電話を除く情報通信機器で上位5以内に入っています。

図表6 都道府県別情報通信機器別のインターネット利用状況（2019年）

パソコン			スマートフォン			携帯電話			タブレット端末		
順位	都道府県名	利用率(%)	順位	都道府県名	利用率(%)	順位	都道府県名	利用率(%)	順位	都道府県名	利用率(%)
1	京都府	81.0	1	奈良県	84.4	1	群馬県	25.5	1	東京都	41.2
2	東京都	80.4	2	埼玉県	84.3	2	富山県	24.2	1	京都府	41.2
3	奈良県	79.6	3	東京都	84.2	3	福島県	21.4	3	神奈川県	41.0
4	静岡県	78.1	4	静岡県	83.0	4	佐賀県	21.1	4	埼玉県	39.9
5	千葉県	77.9	4	京都府	83.0	5	山形県	20.5	5	栃木県	39.6
16	愛知県	72.0	17	愛知県	79.9	14	愛知県	18.9	34	愛知県	31.2

資料 通信利用動向調査：総務省

(注) ・無回答を含む。
 ・対象:過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用したことのある世帯

5 インターネットで利用した機能・サービスと目的・用途（個人）

図表7は、愛知県のインターネット利用者が利用した機能・サービスと目的・用途について見たものです。

2019年をみると、「情報検索」（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用）の割合が66.3%と最も高く、次いで「電子メールの送受信」（64.4%）、「ソーシャルネットワーキングサービスの利用」（61.9%）、「ホームページやブログの閲覧、書き込み又は開設・更新」（54.4%）などの順となっています。

2015年から2019年にかけてみると、「無料通話アプリやボイスチャットの利用」が21.2ポイントと最も上昇しており、次いで、「ソーシャルネットワーキングサービス」が16.3ポイント上昇などの順となっています。

同様に「電子メールの送受信」をみると、2019年時点で64.4%と高い水準にありますが、2017年から下降に転じ、8.9ポイントの低下となっています。

最も利用割合の高い「情報検索」について2015年から2018年にかけてみると、「天気予報」が16.3ポイントと最も上昇しており、次いで「ニュースサイト」、「地図・交通情報の提供サービス（無料のもの）」の順となっています。

図表7 インターネット利用目的・用途（愛知県）

	インターネット利用目的・用途 (%)					増減(ポイント)	
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015年～ 2018年	2015年～ 2019年
情報検索（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用）	-	-	-	-	66.3	-	-
地図・交通情報の提供サービス（無料のもの）	52.3	61.2	60.8	65.5	-	13.2	-
天気予報の利用（無料のもの）	51.7	59.6	63.9	68.0	-	16.3	-
ニュースサイトの利用	43.1	54.1	59.4	59.0	-	15.9	-
電子メールの送受信	73.3	82.7	81.2	79.1	64.4	-	△ 8.9
ソーシャルネットワーキングサービスの利用	45.6	51.3	53.8	56.7	61.9	-	16.3
ホームページやブログの閲覧、書き込み又は開設・更新	-	44.7	42.9	62.5	54.4	-	-
無料通話アプリやボイスチャットの利用	31.5	45.9	54.8	59.2	52.7	-	21.2
動画投稿・共有サイトの利用	52.0	50.0	53.3	57.3	49.4	-	△ 2.6
商品・サービスの購入・取引	49.6	53.0	50.8	54.4	53.4	-	3.8
オンラインゲームの利用	31.1	30.8	30.2	37.2	30.9	-	△ 0.2
eラーニング	-	7.8	9.1	9.3	10.4	-	-
電子政府・電子自治体の利用	4.1	7.5	6.3	7.0	6.9	-	2.8

資料 通信利用動向調査：総務省

(注) ・無回答を含む。

・対象：過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用した者

6 自宅でインターネットを利用する世帯の接続回線（世帯）

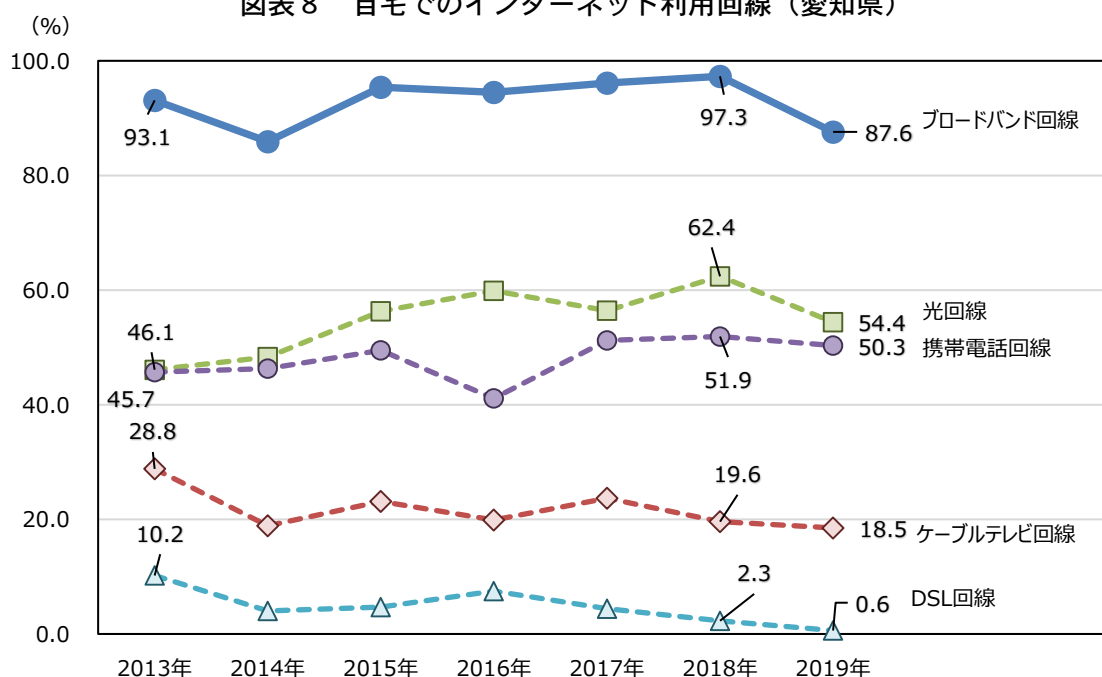
オンライン授業やリモートワークを行うには、まず自宅のネット環境が整っていなければなりません。

膨大なデータ容量を高速で通信できる回線の総称を「ブロードバンド」といいます。今日では、利用者のニーズ（利用料金、速度、コンテンツ等）などに応じた多様なブロードバンドサービスが提供されています。

2019年時点で「ブロードバンド」を導入している世帯の割合をみると、愛知県では87.6%となっており、そのうち、「光回線」を導入している世帯は54.4%、「ケーブルテレビ回線」は18.5%、「DSL回線」は0.6%となっています。

全国で見ると、84.7%の世帯で「ブロードバンド」は導入されており、都道府県別では、埼玉県が90.9%、静岡県、静岡県では90.8%と9割を上回る世帯で導入されています。

図表8 自宅でのインターネット利用回線（愛知県）



資料 通信利用動向調査：総務省

(注) ・自宅でインターネットを利用する世帯の接続回線。

・無回答を含む。

・対象：過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用したことのある世帯

おわりに

インターネットの利用は、パソコンに加え、スマートフォンでの利用が増えています。新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、スマートフォンの位置情報を使った行動追跡が注目され、さらなるスマートフォンの活用が進展していくものと思われます。

様々な用途・目的で活用され、日々の生活に欠かせないものとなったスマートフォンですが、今後は、簡単な操作で利用できる高齢者にやさしい機器の普及が期待されます。

一方で歩行中や運転中の「ながらスマホ」が社会問題となっています。スマートフォンを利用する際には、周囲の人々に配慮し、安全かつ迷惑にならない場所で使用するよう心がけたいものです。